



岡山大学男声合唱団
コール・ロータス

倉敷男声合唱団

メソッドコール・グループ

2004 Joint Concert

後援 岡山市、倉敷市文化連盟
 山陽放送、山陽新聞社
 岡山県学生合唱連盟 (OSCA)
 岡山大学校友文化会

Stage 1 メンネルコール^{アイ}“I”

男声合唱組曲 「若しもかの星に」

- | | | | |
|--------------------|---|------|----|
| 1. 若しもかの星に | 作 | 詩：百田 | 宗治 |
| 2. 光 | 作 | 曲：多田 | 武彦 |
| 3. 樹のぼり | 指 | 揮：安井 | 誠治 |
| 4. 母の夢 | | | |
| 5. 海景 | | | |
| 6. 遠いところで子供達が歌つてゐる | | | |

Stage 2 倉敷男声合唱団

男声合唱組曲 「海に寄せる歌」

- | | | | |
|-----------|---|------|----|
| 1. 砂上 | 作 | 詩：三好 | 達治 |
| 2. 仔羊 | 作 | 曲：多田 | 武彦 |
| 3. 涙 | 指 | 揮：松下 | 泰久 |
| 4. この浦に | | | |
| 5. 鷗どり | | | |
| 6. 既に鷗は | | | |
| 7. ある橋上にて | | | |

Stage 3 岡山大学男声合唱団 コール・コーラス

男声合唱組曲 「吹雪の街を」

- | | | | |
|----------|---|------|----|
| 1. 忍路 | 作 | 詩：伊藤 | 整 |
| 2. また月夜 | 作 | 曲：多田 | 武彦 |
| 3. 夏になれば | 指 | 揮：吉川 | 尚志 |
| 4. 秋の恋びと | | | |
| 5. 夜の霞 | | | |
| 6. 吹雪の街を | | | |

Stage 4 合同演奏

男声合唱組曲 「わがふるき日のうた」

- | | | | |
|------------------|---|------|----|
| 1. 甕のうへ | 作 | 詩：三好 | 達治 |
| 2. 湖水 | 作 | 曲：多田 | 武彦 |
| 3. Enfance finie | 指 | 揮：上月 | 明 |
| 4. 木兎 | | | |
| 5. 郷愁 | | | |
| 6. 鐘鳴りぬ | | | |
| 7. 雪はふる | | | |

2004 JOINT CONCERT

歌重風月

御 挨拶

本日はお忙しい中、倉敷男声合唱団、岡山大学男声合唱団コール・コーラス、及びメンネルコール“^{アイ}I”の三団体にありがとうございます。ジョイントコンサート「歌重風月」にご来場頂きまして誠にありがとうございます。

2004年10月30日、岡山県を代表する3つの男声合唱団の共演という夢のようなコンサートが実現しました。各々の団体は倉敷市、岡山市、及び東備・播州地域で独自の活動を行っている団体であります。昨年の岡山県合唱フェスティバルと岡山県総合文化祭開会式で男声100余名による大合唱を行ったことから発展して、ついにオール男声によるジョイントコンサートという暴挙に出てしまいました。これに懲りず、今後の活躍にもご期待下さい。

本日のプログラムは各団の選曲の結果、奇しくも多田武彦氏の作品が揃ってしまい、いかにも男声合唱団好みの濃い目のプログラムになってしまいました。お気に召すかどうか心配です。しかし、このこだわりこそが男声合唱団の真髓であり、魅力であり、また活力の源泉であると信じています。今宵の演奏で、各団ごとの特徴を味わって頂き、男声合唱の魅力を楽しんで頂けたら幸いです。

最後になりますが、本日の演奏会を開催するにあたり御支援、御協力頂いた方々、そして御来場くださいました皆様に厚く御礼申し上げます。



Massage

メンネルコール“I”

皆様こんにちは、メンネルコール“I”です。
 我々の合唱団は結成後5周年を迎えています。当初はコンクールに出で実力を試そうと頑張っていました
 が、なかなか練習日程も取れない状況で、毎年維持して行くのが困難になって来ました。そこで、何か楽
 しみを作ろうと画策したのが、岡山県合唱フェスティバルでのU BO J (ウ・ボイ) 大合唱。それが思い
 のほか好評で（特に歌う側で）、次々と話が進んでこのジョイントコンサートに繋がりました。
 思えば団結成のきっかけは飲み会だったよな気がするし、U BO J 合唱団のきっかけも忘年会だった
 ような気がするし、ジョイントコンサートのきっかけも去年チボリ公園であった「おかやま県民文化祭総
 合フェスティバル」での一部の盛り上がりからだったよな気がする今日この頃です。男声合唱の魅力は
 心と声のハーモニーです。それをさらに深めるのが打ち上げの宴。ということで、本日も今宵の美酒のた
 めに気合いを入れて頑張ります。

代表 石井 宏昌

倉敷男声合唱団

本日は男声合唱「歌重風月」によるこそお出で下さいました。
 男声合唱をこの3団体で始めたのは、昨年の岡山県合唱フェスティバルが切っ掛けでした。その後、何
 度かの合同演奏をしましたが、この度本格的にジョイント・コンサートとして実現の運びとなりました。
 倉敷男声合唱団は創立18年目になり、定期演奏会も9回を数え、その歴史を重ねていますが、同好の人
 達と大勢で合唱出来るのはこの上ない大きな喜びです。
 今、全国的に男声合唱の人氣が高まっています。また、この演奏会は奇しくも4ステージとも総て多田
 武彦先生の曲となりました。先生から有り難い励ましのお言葉を頂いております。今宵は岡山市民会館を
 私達の熱気で埋め尽くしたいと思っております。

これからも男声合唱を応援して頂きますよう、直敷くお願い申し上げます。

代表 石井 義明

岡山大学男声合唱団 コール・ロータス

忍路の町はどこにあるの。吹雪の中、若い二人の記憶の中。
 冬になれば北海道積丹半島には強い西風が白い波とともに押し寄せます。雪が舞い、風が鳴り、そしてコー
 ル・ロータスが若い二人の追憶の世界をうたいます。
 皆様ようこそ。いつも我が岡山大学男声合唱団コール・ロータスに声援をお送り頂き有難うございます。
 秋風が立つ頃はまた人恋しい季節。

この秋、コール・ロータスは夏の四大学ジョイント・コンサートに続いて二度目のジョイントを致します。
 今回は倉敷男声合唱団、メンネルコール“I”とともに「わがふるまき日のうた」をうたうたって岡山県の男声合
 唱の存在をアピールしますので、どうか一層のご声援を賜りますようお願い申し上げます。

顧問 田中 紀章

瀬戸内の海光に映える歌声

何気なくパソコンで演奏会情報を見た。全ステージ、私の作品を演奏していただけた。しかも、わたしの四十歳後半の作
 品で、初期の作品にくらべると、人の心の内面を吐露した詩人の魂に感動して作曲したもののばかり。
 今回歌っていただく三団体のホームページを拝見して、採り上げて頂いた趣旨もわかった。

いずれも、男声合唱の醍醐味を知り尽くしたかたがた、名演奏が期待される。
 幼少の頃を大阪で過ごした私にとって、祖父が出張先から持ち帰った吉備団子や水蜜桃の芳味は今も忘れ難い。また酷暑
 に列り取られるという蘭草の話を両親から教えられ、晝表に触れては、作業に従事する人々の苦勞に思いを馳せた。
 ささまざまな四季の風情を描いた日本の抒情詩に惹きつけられ、また人々々のこのころの変容をかみしめ、漢詩の七言絶句に感
 動しながら、「花鳥風月・喜怒哀楽・起承転結を内包する日本の名詩」に、西洋音楽の「リズム・メロディー・ハーモニー・
 音楽論」の四要素による構築性を駆使して組曲を書き続け、今年で丁度五十年になった。この年、「歌重風月」と振って今
 宵の四つの組曲を歌っていただけのこと、そろそろ71才を迎える私にとって、一人感慨深い。心から御礼を申し上げると
 共に、演奏会のご成功をお祈りする。

多田 武彦

1930年、大阪生まれ。旧制大阪高校を経て、1953年、旧制京都大学法学部卒業。
 祖父や父が松竹生れの役員であったため、幼少の頃より歌舞伎、邦楽、映画などを見続けて来た。大学卒業後はミュージカル映画の監督を志し、
 1946年から独学で作曲の勉強をはじめた。京大当時、3年間京大男声合唱団の指揮者をつとめ、「月光とヒエロ」を通じて、作曲家清水箏氏の
 指導を受ける。

家庭の事情で、映画界行きを断念、銀行に就職。専ら、会社の再建業務に従事。中略から上場会社まで、約60社の再建に奉功
 仕事の合同を縫って、日曜作家として今日まで約70の合唱組曲を作曲
 現在、作曲のほか、「多田メソッド」と称する名演奏への独自の手法」「ミニ経済講演」などで活動中。

実行委員会

メンネルコール“I”	石井 宏昌 (委員長)	石井 克政 (副委員長)	石井 義明 (副委員長)	石井 英樹 (副委員長)	江角 幸三 (副委員長)	杉本 常石 (副委員長)	伊神 亮 (編集)
倉敷男声合唱団	石井 義明 (委員長)	石井 英樹 (副委員長)	石井 義明 (副委員長)	石井 英樹 (副委員長)	石井 義明 (副委員長)	石井 義明 (副委員長)	石井 義明 (副委員長)

定期演奏会のお知らせ

岡山大学男声合唱団コール・ロータス
 岡山大学男声合唱団コール・ロータス第11回定期演奏会
 2005年1月15日(土)

倉敷男声合唱団
 20周年記念演奏会
 2005年5月予定

Cafe & Dining Bar ブライヤゲート

BRIER GATE

〒678-0222 兵庫県赤穂市東浜町68-1
 TEL & FAX : 0791-42-3391
 E-mail : brier_gate@ybb.ne.jp
 url : http://www.geocities.jp/brier_gate/

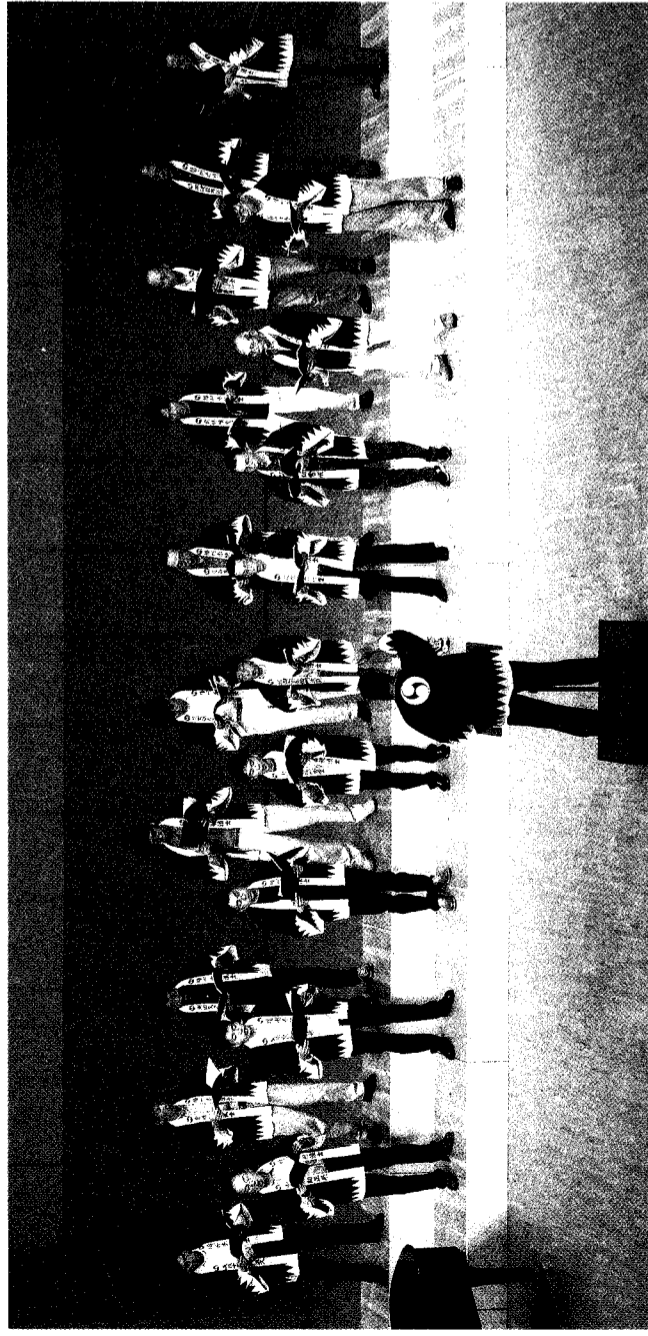


ASSOCIAZIONE VERA PIZZA
 NAPOLETANA N. 92

SAKURAGUMI



〒678-0224 兵庫県赤穂市加賀町6-4
 TEL: 0791-42-3745 FAX: 0791-42-3748
 http://www.vera-pizza-napoli.com/verapizza.jp
 e-mail: vera@vera-pizza-napoli.com



あいさつ

こんばんは！メンネルコール“I”です！
私たちは平成11年12月に行井団長の熱心な呼びかけに賛同した、歌うこと（と宴会で騒ぐこと）が大好きな若々しい（と）ということにしておこう！男たちが集まった集団です。
毎月第2、第4日曜を通常練習日としていますが、毎回少ない人数ながらも密度の高い練習を行うことを心がけています。音楽に対する取り組みなどを（酒を酌み交わしながら）語り合ったりもしています。ホームページの「活動記録」のページをご覧いただくと自分なりに納得していると思いますが、これまでも数々の演奏会（と大宴会）に参加して、少しずつではありますが、皆さんに名前を覚えていただいていたきているかな、と思っております
結成5周年を迎えるこの年に行うことになったこの演奏会を首を長くして待ってほしい。「音楽を楽しむ」ことをモットーに今日のステージ（と終わったあとの打ち上げ）を精一杯楽しみます！最後までごゆっくりお楽しみください！
団ホームページアドレス
http://mannelatinfoseek.co.jp

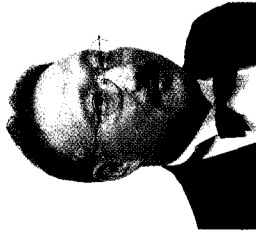
曲紹介

この組曲は、東京オルフェオンの委嘱により、昭和53年4月8日に完成、同年9月に初演された。作詩者である百田宗治氏は、大正デモクラシーの思想を背景に活躍した民衆詩人であったが、年を経るにつれてそのヒロイックな発想からしだいに穏やかな詩風へと沈潜する傾向を覗し、ついにには意識的に民衆詩人と決別することになった。その後は俳句などの伝統的精神に傾斜しつつ、児童自由詩や作文教育に力を注いだ。彼の詩風は、時には鋭く時には温かく人間や景観を描き、またどこどこにもある題材を幻想的なイメージの中で再現してしまふ。特に人道的傾向を持つ詩に特徴があり、人間の本質を客観的に鋭くとらえた詩人であるといえよう
この組曲では、人間の「孤独」に対する「恐怖感」と、そこから解放された時の「歓喜」をテーマとし、その間には激しい感情の変化が見られる。そして終末には、「孤独」とは縁のない明るい子供たちの声を聞くことにより、「その「疎外感」から解放されるのであろう。本目ステージで、こういった感情の動きをほんの少しでも表現でき、皆様の心に残るような演奏ができれば、メンネリアン一同この上もない喜びと存じます。」

Ⅰ 若しもかの星に
人間は孤独にさいなまれたとき、いたたまれない程の恐怖と不安にかられる。そんな極限状態に、もし、あなたが立たされたなら……
Ⅱ 光
実態のない光。すぐそこにあふれている光。しかし私は、その光を求めて永遠に続く階段を昇っていく。
Ⅲ 樹のぼり
素朴な幼少時代の記憶がまるで昨日のことのように思い出される。ほのぼのとした、それだけでいて懐かしさをさそう曲である。
Ⅳ 母の夢
母を思うとき、それは安らぎを求めているときである。そんな気持ちをソロロ歌い上げる。
Ⅴ 海景
絵画的な景色の移り変わりの中、ハミングで表される馬車が近づき遠ざかっていく。ここには「静」と「動」の対比が見られる。
Ⅵ 遠いところで子供達が歌っている
孤独である自分が、朽れを知らぬ子供たちの声を聞くことにより、その疎外感から解放されていく。そんな喜びの感情が、快活なテンポで表現され、終末の部分に集約されている

指揮者 安井 誠治

兵庫県立赤穂高等学校音楽部・立命館大学Manner Choir在籍中、学生指揮者としてサ・シンフォニーホール、フリースタイルホール等で数多くの名演を残した。また、学生時代所属していた合唱団京都都エコーの浅井敬章氏に多大な影響を受け、帰郷後も赤穂市民合唱団指揮者として活動した。現在メンネルコール“I”で男声合唱を再開する指揮法を伊吹新一氏、合唱理論を浦山弘三氏、歌本松幸秀氏に師事。現在、某中学校の社会科教師をつとめる



男声合唱組曲『若しもかの星に』
百田宗治

Ⅰ. 若しもかの星に
もしもかの星に、
夜の空の遠い一つの星のなかに、
取残された一人の人間が唱えるならば、
そしてもし彼がそこらから吾々のこの世界を見るならば、
吾々の、この賑やかで楽しい地上の世界を見るならば、
お、おそらく彼は孤独に狂ふだらう、
声はより上げて叫ぶだらう、
絶望の叫喚を投げけるだらう、
彼はそこから飛び降りたく思ふだらう、
が、彼はなほそこに止まねばならぬ、
苦痛の谷に、沈まねばならぬ、
して、日夜
彼はたゞ独りこの繫がりなき罪りを見ねばならぬ、
そこに彼は生きねばならぬ、
あ、若し吾々の一人がかかゝるおそろしい絶望のうちちに生きるならば、
お、然して彼が高ほ生きるならば……

Ⅱ. 光
自分はのぼつてゆく、
何処までもつゞく階段、
黄金の階段。
自分はのぼつてゆく、
光は遠い、
真実の太陽の光。
自分はこのぼつてゆく、
何処までもつゞく階段、
何処までもつゞく階段。

Ⅲ. 樹のぼり
ぼんぼの熱つてゐる樹の下で
僕はその見と仰よしになつた
その見の髪は熱れた髪の色がした。
どうやらその時から僕の頭髪も熱れた髪の色がする。

Ⅳ. 母の夢
母のゆめを見る
老いたる母のゆめを見る
あたらしい胸いとつくしみがつ
とどかぬ手でわが胸を搏つ
いまは遠い故郷なる母のゆめを見る
Ⅴ. 海景
馬車は巖ばなをまがが、
馬車は壊れかゝつた隣寸間で

光は遠い、
しかし光はそこには溢れてゐる。
光はそこにあふれてゐる。――

馬車は手毬のやうにははずむ
大波濤の
海景は折れまがかり、
しづかな波、
ちらばらばらハンカチのやうな哥哥
外洋の壯大と広闊は失はれて
ぼつかりとした日だまりの海がそこにある

Ⅵ. 遠いところで子供達が歌っている
遠いところで子供達が歌つてゐる、
道路を越して 野の向うに、
その声は金属が何かの尖端が触れ合つてゐるやうだ
一同になつて子供達が騒いでゐるのだ、
戦さごつこが何かをしてゐるのだ、
追つたり、追はれたり
組んだりほぐれたりして
古い草の上でぶさけ合つてゐるのだ、
お、晴れたつた空に呼吸して、
子供達の声が私の窓にきこえてくる、
遠い世界のもの、やうにひびいてくる、
私の魂はそれに相応ずる、
そのひびきの一つ一つをきく、
はるかに支持し合ひ
保ち合ふ人生がきこえる、
お、私はその声を聞いてゐる。

Ⅶ. 海景
馬車は巖ばなをまがが、
馬車は壊れかゝつた隣寸間で

Ⅷ. 海景
馬車は巖ばなをまがが、
馬車は壊れかゝつた隣寸間で

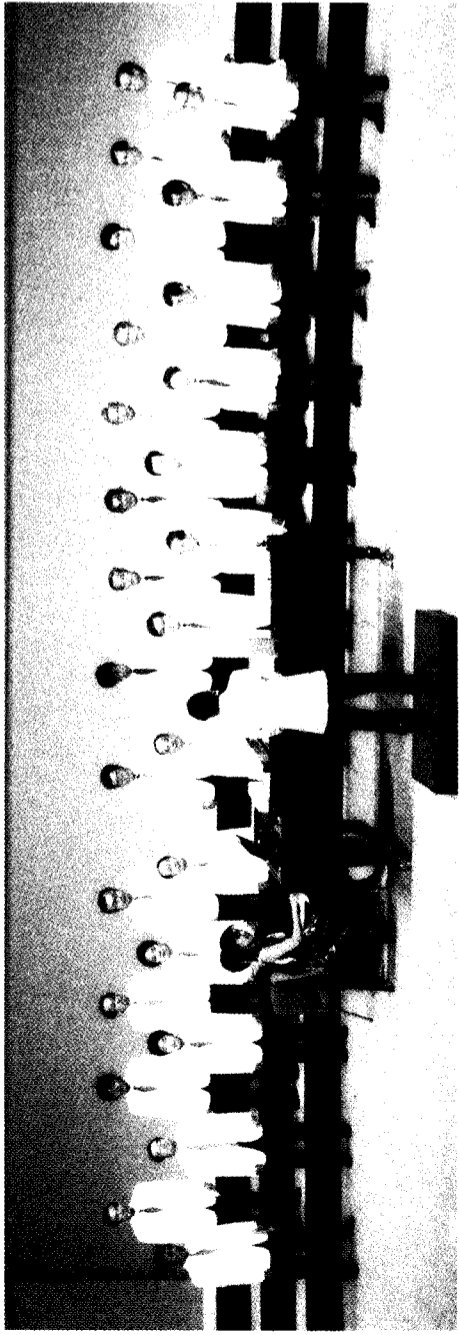
Ⅷ. 海景
馬車は巖ばなをまがが、
馬車は壊れかゝつた隣寸間で

Members

Table with 2 columns: [Top Tenor] and [Second Tenor].

Table with 2 columns: [Baritone] and [Bass].

2nd Stage



あいさつ

皆様、こんばんは。ようこそいらっしゃいました。

私達の合唱団は“KURASHIGE”という愛称で呼ばれています。私達はほとんどが社会人で、日頃、会社員、教師、自営業の傍ら合唱の練習に励んでいます。月に4回の練習日に集うのは大変なことです。けれども、楽しい合唱、楽しい合奏をしながら、楽しい意欲を持ってやっています。

指揮者の松下は高校の国語教師なので、いつも詩の解説がしてくれますが、今回も三好達治の心を見事に説いてくれました。

私達の平均年齢は少し(?)高いですが、達治の気持ちわかる年代だと思えます。ひととして取った大人の味を演奏に込められたら、と思っています。

ご一緒に達治-多田武彦の世界を楽しみましょう。

曲紹介

この組曲は昭和五十二年、広島崇徳高校グリークラブの委嘱で作曲され、天野守信氏の指揮、同クラブの演奏により初演された。

作曲者の多田武彦自身、委嘱後指揮者の天野氏からの手紙を読み、「広島という愛称は海だ!」と考え、「三好達治の海の詩を選んで組曲が出来上がってきた」という旨を述べられているが、選ばれた詩は、様々な表情の海と、その海に対する詩人の心境が、まさに一連のドラマのようなつながりで組み立てられている。

七つの詩のうち、「つばはそれぞれ、『山果集』、『開花集』、『岬千里』に、あとの四つは『一点鐘』に収められ、一つの詩は独立しており、連作ではない。ただ、少年時代の回想の中の美しい海、若々しい躍動的な詩作の数々を、少年のように飛び跳ねる仔羊や自由に飛翔する鷗になぞらえたもの、美しい自然への感動を詩にできる詩人としての自負心など、少年のような素直な感動の詩が歌詞として選ばれており、崇徳グリーメンの感性にふさわしい一連の詩のように思われる。

さらに詩には、少年を温かく見守る父親の愛、烈しい海風にもまれながらも、何かを求めて風を渡るいなから飛ぶ鷗の姿に、若き作者自身のかつての生き様を重ね合わせた思い、海の彼方の小島を、いつかは眠る我が墓標に見立てて、無常感を淡々と表現したものも含み、崇徳グリーメンを、人生の奥行きをより立体的に奏でる演奏に導く詩の世界であるように思われる。どれも達治の最晩年の作品ではないが、人生を語る詩ばかりである。

指揮者 松下 泰久

上智大学文学部卒業。在学中上智大学グリークラブに在籍し、北村協一氏・外山浩輔氏・大久保保昭氏との薫陶を受け、男声合唱にはまっています。高梁高等学校や現在の勤務校の岡山芳泉高等学校でも合唱部の指導にあたる。最近、少しだけゴルフにはまっています。人に大きな声で話せるようになるように出せませんが、でもこれって合唱に十分応用が利きますよね。腕力したアドレシスのプレスには、フィニッシュの胸のホジションは発声に、そういうえば指揮も力込めすぎるとダメだと思います。今夜は不必要な力の振った、暫く合唱が披露できたらと願っています。



海に寄せる歌

三好達治

I. 砂 上
海 海よ お前を私の思ひ出と呼ぼう
私の思ひ出よ
お前の渚に 私は砂の上に臥よう
海 鹹からい水
……水の音よ
お前は遠くからやつてくる 私の思ひ出の縁飾り
波よ 鹹からい水の起き伏しよ
さうして渚を囁むがいい さうして渚を走るがいい
お前の飛沫で私の瞳を濡らすがいい

II. 仔 羊
海の青さに耳をたて 開ひの欄を跳び越える 仔羊
砂丘の上の馳けのほり じれの影にとび上る 仔羊よ
私の歌は 今朝生まれたばかりの仔羊
潮の薫りに眼を瞬き 飛び去る雲の後を追ふ

III. 涙
とある朝 つの花の花心から昨夜の雨がこぼれるほど

小さきもの
小さきものよ
お前の眼から お前の睫毛の間から
この朝 お前の小さな悲しみから

父の手に
こぼれ落ちる
今この父の手の上に しばしの間温かい

ああこれは これは何か
それは父の手を濡らし
それは父の心を濡らす
それは遠い国からの
それは遠い海からの
それはこのあはれな父の その父のそのまた父の まぼろしの故郷からの
鳥の歌と 花の匂ひと 青空と
はるかになつづいた山田との
……風のたより
なつかしい季節のたより

この朝 この父の手に
新らしくとどいた消息

IV. この浦に
この浦にわれなくば
誰かきかん
この夕 この海のごそ

この浦にわれなくば
誰かみん
この朝この岬のかげ

V. 鷗どり
ああかの烈風のふきささぶ
砂丘の空にとぶ鷗
沖べをわたる船もないさみしい浦の
この砂浜にとぶ鷗
(かつて私も彼らのやうなものであった)

かぐろい波の起き伏しする
ああこのさみしい国のはて
季節にはやい烈風にもまれもまれて
何をともめてとぶ鷗

(かつて私も彼らのやうなものであった)
波は砂丘をゆるがして
あまたたび彼方にあがる潮騒り その轟きも
やがてむなく消えてゆく
春まき日をなく鷗
(かつて私も彼らのやうなものであった)
ああこのさみしい海をもてあそび
短い声でなく鷗
声はたちまち烈風にとられてゆけど
なほこの浦にたえだえに人の名を呼ぶ鷗どり
(かつて私も彼らのやうなものであった)

VI. 既に鷗は
既に鷗は遠くどこかへ飛び去った
昨日の私の詩のやうに
翼あるものはさいはひな……

あとには海がのこされた
今日の私の心のやうに
何かぶつくさ歌いてある……

VII. ある橋上にて
十日くもりてひと日見ゆ
沖の小島はほのかなれ

ただだきすこし傾きて
あやふさきままにたたずめる
はなだに暮るるをちかたに
わが興つきを見ることし

[Second Tenor]

池田 進一
佐野 文秀
徳丸 猪久馬
中西 功

[Baritone]

石井 保明
茅原 隆之
黒木 智文
定金 紀雄
末次 勝也
島山 祐二
森勝 英樹
山本 忠嗣

[Bass]

阿左見 和夫
今井 琢磨
織田 友和
河内 拓哉
渡谷 和彦
辻 一雄
原田 一郎
松 泰久





あいさつ

ご来場の皆様今晚は、岡山大学男声合唱団コール・ロータスです。今宵は2004年ジョイントコンサート「歌風風月」にご来場下さり、誠にありがとうございます。

我が団は今から13年前の1991年に十数人の医学部生によって結成され、今日まで古き良き伝統を守り、そしてそれを受け継ぎ、また新しいものを取り入れ日々練習に励んでいきます。

指揮者 吉川 尚志

- 常石「東京の演奏会、おつかれさまです。」
吉川「ありがとうございます」
常石「打ち上げでは大あはれしてましたネ。」
吉川「ハイ 演奏会よりがんばりました(笑)」
常石「そういえば吉川さん、チ○ホに管をえ入れられた感想は？」
吉川「気持ちいい！
ちよーキモチー！」

曲紹介

男声合唱組曲 吹雪の街を。
舞台は北海道 塩谷 作詞者伊藤 整の青春時代をすごしたところ。この組曲は伊藤 整の塩谷での恋のうたです。好きな女性への憧れや親しくなれないもどかしさ、また恋人への思慕、別れた女性を忘れなく後悔の思いのこめられた詩に、多田武彦により美しく、切なく、切なく、優しく、優しく、歌に表現されています。今宵、詩の主人公と同じ20歳前後の僕等のうたで、主人公のジェリアなところを皆様にお届けしたいと思います。

- I 忍路
塩谷の吹雪の忍路 思いを寄せている人の住んでいる村。そこへ彼女に会うために主人公は険しい目も暮れ日も通った。
II また月夜
憧れの彼女に素直に思いを伝えたい。しかしなかなか伝えることができないう。この美しい月夜のなかでなら、彼女もわかっていてきてくれるだろう。
III 夏になれば
憧れよく会う笑顔の美しい女性。主人公はこの女性の素直な笑顔の幸せさが生涯失われぬようににと、遠くから優しく見守っている。
IV 秋の恋びと
ころを聞いてくれない恋びと。主人公の失恋の予感ほつのはかり。明日にも冬がやってくるというのに。主人公の焦りは秋という季節を背景に加速していく。
V 夜の歌
夜日に白く糸のように映る夜。夜は散しく降りそそぎ、星根をたたいて糸のように降りつづんでいる。この自然の静しさから主人公はなにを感じたのだろうか。
VI 吹雪の街を
いつか別れをいげなければならぬ青春時代。そのときの恋が忘れられない。美しい日々が忘れられない。主人公は後悔を胸に抱き、吹雪の街を歩き彷徨う。

男声合唱組曲「吹雪の街を」

伊藤 整

I. 忍路
途にさうて
揺れた林の静をのめるかへつに前頭踏してから
僕たちは手を置きでて
次ぎつぎに jumping stop した
そして目の下に
吹雪の忍路の村を覗いた
また寒い八月には
細い道を 小川に帆を張って
まのしころに
静かな忍路の街へり入れた
月夜にはよく足跡がけで歩いて逆つた
忍路は離島から船を越したところ
僕の村からも船走出来るところ。
そこに初のあはれ まなざしの誰い人があつて
浜風のなでしこのやうであつたが

II. また月夜

この月のひかりの中なら
とこまでも知らずに歩いて行くだらう。
あゝ、私の手や長い草に
様々のやうに反射してある やはらかい光り。
私ひとりではないやうな
誰かと歩いてゆくやうな明るい路。
あんまり美しいので
手にとつて見てあたいのひかり。
こんな月のひかりの中で逢つたら
彼女はなんにも言はないで
私についてくるだらう。
二人が嘘をついてあたいのことがよくわかるだらう。

III. 夏になれば

夏になれば みな浴衣で涼み
出すもの祭には 華やかな灯があつく
あそここの家にあつて



Members

- (Top Tenor)
西山 隆 幸
吉川 敏 亮
伊神 宏 和
高橋 宏 雅
小泉 眞 治
佐伯 藤 裕 也
藤原 隆 志
新治 好 史
山崎 俊 政

(Second Tenor)

- 早川 耕 平
光尾 崇 男
赤澤 善 大
菅 豊 将
近藤 真 和
中馬 石 太
常吉 川 尚 志
木下 幸 三
杉本 淳 一
中野 角 佑 紀
根藤 原 愛 仁
美並 彰 悟
南 光 博

(Baritone)

- 川西 智 浩
山中 康 幸
鹿島 健 勉
真鍋 努 翔
水本 澤 太
井澤 藤 一
斉藤 博 昭
野瀬 純 弥
宮田 利 伸
毛利 智 介
山口 荒 耕 正
荒大 友 雅
田中 雅 之
月 森 宗 平

(Bass)

- 今西 弘 典
山田 義 高
江角 裕 晃
古賀 晴 治
宮下 太 輔
石田 見 平
小西 見 普
里見 祐 二
芝崎 我 部
曾廣 江 拓
廣江 拓 也
一色 健 徳
小田 垣 利
小林 正 典
田村 直 裕
藤田 光 生

あゝ、さあつと林に吹き込んては吹雪の
村を映らした夜の歌
隣手にあがつかいと燃え立つかつて眺る
あはれたの大きい町と 歳仕事
その端を打つ音 打つ音を道し
星根を叩いて
夜は糸のやうに降りつづてである
あゝ、夜日に白く舞つて

VI. 吹雪の街を

歩いて来たよ 吹雪の街を
言ひ出さねは
それで忘れただだと思つてゐるのか
ゆがりも無かつたといへば
今更だいても見たいのか

IV. 秋の恋びと

木の葉はおしなへて散つてしまつた。
秋はいたる所に
つめたい里人の駒を覗かしてゐる。
爪ざね顔の まつ毛の黒い。
もの言はぬ恋びとよ。
お前はかすかすの思ひを燃やして
毎日 たまつて
私と人知れぬ目を交す約束を忘れはしないが
あゝ、お前はそつちの白い手を
何時になつたら私へさしのはつた。
秋はすつちの木葉を落として
明日にも冬が嘘を鳴らしてやつて来るだらうに
お前はそつちの思ひを
何時になつたら私に語るのだらう

V. 夜の歌

夜日にしろく 糸のやうに降りつづる
星根に跳ね 木々に触れ
さうして 凍つた道に白く舞つて
外套の裏に指つて



指揮者 上月 明

岡山大学教育学部音楽専修課程卒業。昭和48年、岡山大学教育専攻科（音楽専攻）を修了。作曲を菱川欣三郎氏に師事、指揮を近藤安介氏に師事。女声合唱組曲「母と子の語らい」、室生屋星叙情小曲集、男声合唱組曲「智恵子抄」、同「ことはあそび歌」、ソプラノと男声合唱のための曲集「月曜日の詩集」、男声合唱組曲「宮沢賢治の詩より」、ロータスマシンの詩による合唱の世界「返信」等の作品がある。二期会中・四国支部オペラ「魔笛」等の公演や、岡山シンフォニーホール開館記念委嘱作品、オペラ「ワカヒメ」の初演で合唱指揮を務めた。

現在、岡山県合唱連盟理事長、岡山市民合唱団総指揮者、岡山大学男声合唱団コール・ロータス常任指揮者。

あいさつ

ふとしたことから大学の男声合唱団に入団し、本格的に合唱を始めるとこととなりました。以来、多田武彦作品は合唱の原典として、常に私の心の奥深いところで存在しています。男声合唱には、演奏を聴くだけでは分からない、歌って初めて知る魅力があります。それは重厚なハーモニーです。その魅力に取り憑かれた男たちは、飽くことを知らず男声合唱を歌い続けるのです。

多田武彦は、多くの詩人達の中からとりわけ「好達治の詩を好み、多くの作品を書き上げています。豊かな感性で、知的な雰囲気を書き上げながら、日本の伝統的な詩の世界を歌いあげた多くの作品は、多田武彦のみならず、多くの作曲家に採り上げられています。「わがふるき日のうた」は、昭和の初期の現代詩史に一時期を画した「好達治の最初の詩集『測量船』」からいくつかの詩が選ばれています。日本の風土に根ざした叙情的な世界が、「好達治のみずみずしい感性で色濃く描かれ、多田武彦の躍動感あふれる旋律と重厚なハーモニーが加わって、鮮やかな合唱作品となりました。

本ステージは、幅広い年齢層から成る男声合唱です。重厚なハーモニーと繊細な表現とで男声合唱の魅力が表現できることを願っています。

わがふるき日のうた

好達治

I. 甕のうへ

あはれ花びらながれ
をみなごに花びらながれ
をみなごしめやかに語らひあゆみ
うららかなの電音窓にながれ
をりふしに睡をあけて
賢りなきみ草の春をすきゆくなり
みみの甕みどりこころはひ
知るに
風舞の叶かたしづかなれば
ひとりなる
わが身の影をあゆませる甕のうへ

II. 湖水

この湖水で人が死んだのだ
それであんなにたくさん舟が出たのだ
葉と葉草の ところに死骸はかくれてしまったのか
それを見出した台詞の音はまだ鳴らない
風が吹いて 水を切る船の音響の音
風が吹いて 草の根や蟹の匂ひかする
ああ誰かがそれを知っているのか
この湖水で夜明けに人が死んだのだと
誰かがほんとは知っているのか
ちうこんなに夜が来てしまったのに

III. Enfance finie

過ぎ去りし幼年時代
海の速くに鳥が……、雨に唇の花が啄ちた。鳥籠
に春が、春が鳥のみない鳥籠に
約束はみんな壊れたね
海には雲が、ね、雲には地球が、眠ってあるね
空には階段があるね。

今日記憶の旗が落ちて、大きな川のやうには、私は
人と誤れよう。床に私の足跡が、足跡に散かな塵が
……、
ああ哀れな私よ

僕は、さあ僕よ、僕は遠い旅に出ようね

IV. 木兎

木兎が叫んでいる
ああまた木兎が叫んでいる
古い歌
聴きなれた昔の歌
お前の歌を聴くために
私は都にかへって来たのか……
さうだ
私はいま私の心こそう答える

十年の月日がたった
その間に 私は何をしてきたか
私のして来たこととよいば
さて何だろう……
つづつ 私は希望をうしなつた
ただそれだけ

木兎が叫んでいる
ああまた木兎が叫んでいる
昔の歌で
昔の歌を歌っている
それでは私も お前の真似をしよう
すこしばかり産をとつた この木兎もさ

V. 郷愁

葉のびやなき私の郷愁…… 葉はいくつが響を越え、
午後の街角に海を見る…… 私は岸に海を聴く……
私は水を用いる 私は岸に死れる 隣りの部屋で
時が持つ 海、遠い海よ！と私は紙にしたためる
海よ、僕らの使ふ文字では、お前の中に居がぬ
そして母よ、私四人の言葉では、あなたの中に海
がある。

VI. 鐘鳴りぬ

聴け
鐘鳴りぬ
聴け
つねならぬ鐘鳴りいでぬ
かの鐘鳴りぬ
いざわれはゆかん
おもひもちうけぬ日の空に
ひびきわたらぬ鐘の音を
鐘鳴か五腕がしらす

われはゆかん さあれゆめ
ゆるがせに聴くべからぬは

われはゆかん

牧人の鞭にしたがふ羊の
足どりはやく小走りに

路もなきおとろの野すそ
盛しもしけしののめを
われはゆかん
ゆきてふたたびひびきこころん

いざざらばうかららのねの
目のごとくわれをなまちぞ
つねならぬ鐘の音

もろともに聴きけんをいさ
あかぬ目のつひの別れぞ わがふるき日のうた

VII. 宵はふる

海にもゆかな
野にゆかな
かへるべもなき身となりぬ
すきこし方ながへりみぞ
わが野の上に宵はふる
宵はふる
かかふるよき日をいつよりか
われの死ぬ日と願ひてし


SHOWA

印刷に真心をつくす

は出し屋

— 家庭の味をお届けします —
各種料理の御注文承ります
 お気軽に電話番号ください。
☎ 0869-62-0033
 備前市野谷164-4 末広商店

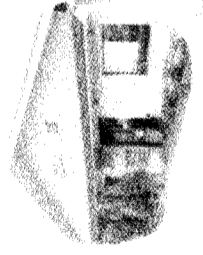
ペットと泊まれる宿
ペンション へるつ
 〒678-0222 兵庫県赤穂市東浜町100番地
 TEL・FAX 0791-43-2037

あなたの身近に
 楽しい音楽の喜びを...

株 ヤマハミュージック瀬戸内岡山営業部
 ウイズユー 岡山市表町1-8-48
 TEL 086-232-2519

和食れすとらん
おしぼ



岡山県 倉敷市 〒70-2
 Tel (086) 463-0201
 Fax (086) 463-0197
 営業時間 11:00~11:00
 17:00~21:00
 定休日 火曜日、正月

既製の冷凍食品などは使っておりません。

酒の悟空

GOKU

毎日の食卓で天然ミネラルをバランスよくとって健康に...
きび酢
 長寿の国 奄美大島よりお届けする
 おの酢

700ml 約1ヶ月分
 3,150円 (税込)

きび酢には、身体に大切なカルシウム・マグネシウム・カリウム
 等が豊富にバランスよく含まれています。
 また、最近注目されている身体のサビつきの原因といわれる
 活性酸素も打ち消す働きがあると確認されました。

岡西ホクワーク株式会社
 〒712-8011 倉敷市遊馬町遊馬63-108
 FAX 086-146-5331
 お問い合わせ・ご注文は
 ☎ 0120-75-5575 URL <http://www.kibisu.ne.jp>
 e-mail kibisu@sqf.or.jp

頼りになる町の法律家

～皆様の生活と営業をサポートします～

行政書士 森脇 英樹

〒702-8058 岡山市並木町二丁目11-85
 TEL 086-263-7113・090-8364-4391
 FAX 086-263-7113
 E-mail: hide-mar@po5.oninet.ne.jp

47 LIQUORS

アフォーティセゾン

赤穂センターモール内 リカーズ

年中無休
 AM9:30～PM8:00

祝

ジョイントコンサート

中田第二歯科医院

TEL 0791-45-1201
 赤穂市南野中275

田町2丁目
 新西大寺町電停前

お口の健康相談
 歯と歯茎の健康相談

吉田歯科医院

院長 吉田 隆行 医師 高原 美子 医師 吉田 穰人

午前9:00～12:00
 午後2:30～8:00
 5:00まで

休診日/日曜・祝日・水曜午後・(土曜日午後5:00まで)
 吉本三丁目劇場を目印にご来院下さい



NTT
 中西郵便局
 川島郵便局
 伊予屋守
 吉田ハニーキング店
 吉田ハニー本社
 ローソン
 吉本三丁目
 大塚交差点
 田町2丁目
 至西大寺

契約駐車場 田町パーキング
 岡山市田町2-10-15
Tel&Fax (086) 222-6383

今年生まれたての
 混声合唱団 “SOLA” です
 (旧・文化センター合唱団)

指揮者 柿本 幸徳

第一回定期演奏会
 2005年5月26日 (土)

曲目・新実 徳英 作曲「幼年連唄」
 ・多田 武彦 作曲「雨」
 ・その他

練習日 毎週月曜日午後7時(休日は休み)
 場所 岡山市野田1-1-32(テレビせとうち向側)
 ナカタホーム 3階ホール(086)245-2808
 連絡先 難波 良子(086)253-0170
 吉田 都子(086)272-5550

本日はジョイントコンサート2004「歌重風月」にお越し下さり誠にありがとうございますとございます。

このパンフレットを制作するにあたり、まず私達の社会人と学生という立場やスケジュールの違いが壁として立ちほだかりました。三団にとっても初めて経験であり、思うようにいくこともなく難航の一路。とても編集一人ではこなせる大役ではありませんでしたが、その双方二つの見地からの助力というものもまた大きな力となりました。

そうして出来上がったこの一冊はとても美しく、私達の絆、皆様との交差、そして一生の思い出の軌跡となりました。三団一同、とても嬉しく思います。

しかし、これも原稿をお寄せくださいました皆様と昭和印刷株式会社様の大変な協力があったからこそのものであります。短いですが、この場を借りて深く御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。